

|              |                                                                                     |
|--------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| Title        | 演劇学論叢 第11号 表紙・目次                                                                    |
| Author(s)    |                                                                                     |
| Citation     | 演劇学論叢. 2010, 11                                                                     |
| Version Type | VoR                                                                                 |
| URL          | <a href="https://hdl.handle.net/11094/97451">https://hdl.handle.net/11094/97451</a> |
| rights       |                                                                                     |
| Note         |                                                                                     |

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

ISSN 1346-6208

2010.3

第11号

# 演劇学論叢

天野文雄教授退職記念

「演劇研究の現在」

# 演劇学論叢

天野文雄教授退職記念「演劇研究の現在」  
大阪大学大学院文学研究科演劇学研究室

『演劇学論叢』第一一号——【演劇研究の現在】

目次

天野文雄教授略歴 ii

天野文雄教授研究業績一覽 iv

能を演劇と見る芸能史学者

——古い友人を新しい知己として——

イブセン能覚書

——『ふたりのノール』（人形の家）による現代能の制作と演出について——

世阿弥と三郎元重（その三）

——世阿弥の芸論における「芸道への危機感」をめぐって——

解釈の理論／理論の解釈

野田秀樹の『ザ・ダイバー』における「演劇の修辞学」

——能『海士』との関係性——

「初期花伝」の増補時期再検

——増補記事の質をめぐって——

山崎正和 1

毛利三彌 4

天野文雄 30

山下純照 56

尾本頼彦 71

二本のロープ……………木下耕介 90

——映画と演劇の時間経験に関する試論——

『副言卷』の目指したもの……………橋場夕佳 106

——修羅能のアイ語りをめぐって——

### 演劇史研究の刷新

幕末維新期の外交官たちの横顔……………三原文 121

——日本の見世物芸を「輸出」する——

大坂商人の演能活動……………宮本圭造 154

——担い手から見る近世大坂能楽史——

能大夫藤林権左衛門の観世家入門……………中尾薫 172

——中津藩町方記録『惣町大帳』の記事を中心に——

調査報告 岩倉使節団が観た演劇……………堤春恵 197

——アメリカとイギリス——

### 「間近代」の日本演劇

琵琶と活動写真／映画……………澤井万七美 215

——明治末から大正期の状況——

カリカチュアの演技とその機能……………正木喜勝 234

——トランク劇場・前衛座・心座の上演を中心に——

衣笠貞之助の連鎖劇制作……………横田洋 248

三大狂言「序切跡」の分析……………多田英俊 266

——構成と演出による——

## 異文化の中の演劇

カッコウと原爆……………永田靖 282

——アジアにおける内在するディアスポラ演劇——

中国における能楽研究……………王冬蘭 300

——一九四九～二〇〇九——

ラインハルト演出「奇蹟」アメリカ公演(二)……………大林のり子 323

——その興行的戦略——

最近の狂言翻訳および外国語による狂言上演……………ヒール・オンジェイ 344

——狂言の修行、紹介、実演、翻訳をめぐる——

## 上演研究の新展開

江戸中期上方話芸の様相……………中川桂 369

——『浪速新内跡追』の再評価を中心に——

遅れてきた古典的実験作……………

平川大作

387

——マーティン・クリンプ作『アテンプツ・オン・ハー・ライフ』の上演より——

義太夫節創成期における竹本義太夫のうれい……………

細川久美子

400

——曲節「ノル」「ノルフシ」を通しての二考察——

ロベール・ルパージュ演出『アンデルセン・プロジェクト』……………

神崎舞

420

——隠蔽された自己の表象——

### ■資料紹介

永正三年笛彦兵衛伝書「龍吟秘訣」……………

天野サチ

439

茂山忠三郎家蔵『翁秘書』……………

茂山恭仁子

462

■表章先生集中講義録「能楽研究をめぐる諸問題(2)」……………

表章

470

■研究室の窓……………

557